

抗議文

繰り返される米兵犯罪に強く抗議し、再発の根絶を強く要求する

米海軍第7艦隊司令官 スコット・スウィフト中将 殿
在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 デービット・オーエン大佐 殿

2013年1月25日

原水爆禁止神奈川県協議会
理事長 片野 憲二
横浜市中区野毛町2-16大沢ビル4A
Tel 045(231)6284

1月21日、午前2時55分頃、原子力空母GW乗組員のマニユエル・シルバ1等航空兵が、横須賀市汐入町の住宅に無断で侵入する不法行為で逮捕された。また、同日午後2時55分頃、原子力空母GW乗組員のジョン・ラリー・キャンフィールド2等水兵が、横浜市西区南幸の路上で男性を殴打し傷害容疑で現行犯逮捕された。

この間この2件の事件以外にも、昨年の10月以降全国及び神奈川県内で、7件の集団女性暴行事件、住居不法侵入、全裸のわいせつ行為などで逮捕されている。これら一連の犯行は、そのすべてが酒を飲んでの犯行である。

私たちは、住民の命と安全、生活を脅かすこのような米兵による犯罪に対し心からの怒りを持って強く抗議する。

米兵による連続的な犯罪が、米軍の「綱紀粛正」「夜間外出禁止令」「夜間飲酒制限令」などの措置をとっている中で発生していることは重大である。つまり、米軍当局が「米兵犯罪を厳粛に受け止め」「綱紀を粛正し」「教育訓練を徹底する」と述べていることが、まったく実効性のない口先だけの措置であることを事実をもって示している。県民は、このような米軍当局の対応に、強い怒りと深刻な憂慮を強めている。

われわれは、あらゆる米兵犯罪の根絶のために、次のことを強く要求する。

1. 連続的に発生している米兵による犯罪に対し、在日米軍司令部として謝罪すること。
2. この間の様々な再発防止の措置が実効性のないものであったことが明らかになっている。このことをふまえ今後、米兵犯罪の根絶・再発防止の実効性ある断固たる措置を取ること。
3. 米兵犯罪の抜本的根絶の具体的な「プログラム」について、県民に広く公開し、米軍当局の決意を明らかにされたい。
4. 米兵犯罪は、基地あるが故の犯罪であり、「戦争で人を殺す訓練をしている米兵」が存在する限り根絶はできない。抜本解決のためにも、在日米軍基地の撤去、原子力空母GWの母港を撤回をすること

以上